

12月の安全運転のポイント 平成22年12月号

平成22年もういよいよ年の瀬となりました。この時期は忘年会シーズンでもあり、お酒を飲む機会が増える人も多いでしょう。また、なにかと気ぜわしく、運転にも先を急ぐ気持ちが生じやすいときです。

そこで今回は、飲酒運転や急ぎや焦りからくる「先急ぎ運転」の防止など、年末にあたって留意しておきたい事項をまとめてみました。過去の統計をみると、12月は最も事故の多い月となっています。安全運転で1年を締めくくりましょう。



飲酒運転の防止

飲酒運転は犯罪である

飲酒運転は重大事故につながる極めて危険な行為であり、社会的犯罪です。そのため罰則も非常に厳しく、事故を起こした場合はもちろんのこと、そうでない場合でも懲役や罰金の刑事処分と運転免許の取消し等の行政処分を受けることになります。

飲酒運転は絶対にしない、させないということを改めて心に刻みましょう。

飲酒の予定があるときは車で出かけない

飲酒運転を防止するためには、忘年会などで飲酒の予定があるときは車で出かけない、運転の予定があるときは勧められても飲酒はしない、少しでも飲酒をしたときは車を運転しないことを徹底する必要があります。

また、以下のような行為も運転者と同様に刑事処分の対象となりますので注意が必要です。

- ・ 飲酒運転をするおそれのある人に対する車両や酒類の提供。
- ・ 飲酒運転の車への同乗。

なお、車を利用して仲間同士で飲食店等に行く場合に、メンバーの中にお酒を飲まない人をあらかじめ決めておき、その人が車を運転して仲間を自宅まで送り届ける（このような人を「ハンドルキーパー」といいます。）方法もあります。

酒に酔った歩行者や自転車に注意する

忘年会シーズンは、酒に酔った歩行者や飲酒運転をする自転車も少なくありません。夜間に住宅街や商店街を走行するときは、あらかじめスピードを落とし、歩行者や自転車に十分注意しましょう。

飲酒運転の罰則

酒酔い運転

5年以下の懲役
又は100万円以下の罰金
違反点数 35点 (免許取消し)

酒気帯び運転

3年以下の懲役
又は50万円以下の罰金

違反点数

呼気1リットルにつき0.25mg以上 → 25点 (免許取消し)

呼気1リットルにつき0.15mg以上0.25mg未満 → 13点 (免許停止)





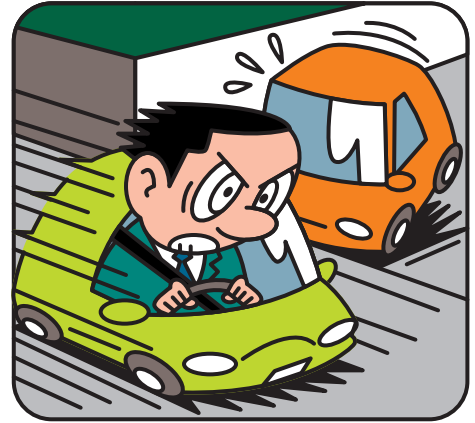
急ぎや焦りからくる先急ぎ運転の防止

先急ぎは危険な運転を招く

先を急いでいると、心に余裕がなくなり、思いやりや譲り合いの気持ちが失われるだけでなく、次のような危険な運転をしがちです。

- ・スピードを出し過ぎる。
- ・前車との車間距離をつめる。
- ・信号の変わり目に強引に交差点に進入する。
- ・一時停止の必要な場所で一時停止をしない。
- ・周囲の状況をよく確認せずに左折をする。
- ・追越しを繰り返したり、頻繁に車線変更をする。
- ・対向車が接近しているにもかかわらず、その直前を右折する。

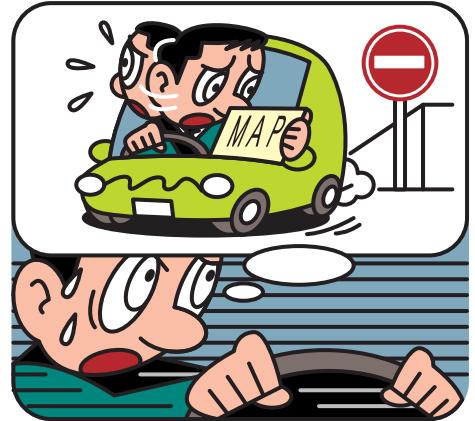
これらの運転はいずれも重大な事故につながりやすいことはいうまでもありません。



先急ぎの原因を作らない

先急ぎ運転を防止するためには、なによりも先急ぎの原因を作らないことが大切です。先急ぎの原因としては、出発が遅れる、途中で渋滞に巻き込まれる、道を間違えるなどが考えられますから、事前に道路情報等を収集して走行計画を立てるとともに、走行ルートをしっかり確認して、早めの出発を心がけましょう。

また、忘れ物をすると余計な時間がかかりますから、出発前には携行品を十分チェックしておきましょう。



先急ぎ運転は事故につながる

走行の途中に、突発的な渋滞に巻き込まれることがあります。そのようなときは先を急ぎたくなるものですが、今日の道路では信号機が数多く設置されており、先を急いでもあまり時間短縮にはなりません。実際、追越した車に交差点で信号待ちをしている間に追いつかれるというケースはよくあります。

先急ぎ運転は、先を急ぐことによるイライラや焦りなどの精神的な負担、スピードの出し過ぎや追越しなどの危険な運転による緊張感や疲労などのマイナス面が多く、それだけ事故につながりやすくなります。

先を急がず、常にゆとりのある運転を心がけましょう。



「ご相談・お申込先」